



TEL 076-621-5155
FAX 076-621-5150
E-mail okshoten@poem.ocn.ne.jp

平成十六年十月二十日
〒九三二〇八〇四
高岡市問屋町四十
有限会社 沖商店発
2016.10.20

いつもお世話になりありがとうございます。

『人は何の為にこの世の中へ生まれて来たのでしょうか』『人生の本来の目的は何なのでしょうか』『そんな人生の根本的問題を皆様と一緒に考えたい』と思ひ、皆様の心に一石を投じて、意見を頂く機会になることを願って本通信をお届けしている次第です。どうか忌憚の無い意見を寄せてくださいます様お願い申し上げます。

一 素晴らしい日本

中学・高校で世界史を学習した時「東方にある宝の国、ジパング」という表現で日本のことが紹介されてきました。『東方見聞録』で有名なマルコポーロの紹介によるものだと記憶しています。

八月十二日午後七時半、NHK第一放送「道中でござるSP」という番組で「外国人が見た幕末日本・世界一の花の王国発見」と題して、当時の外国人が日本人に対し感じた事柄が紹介されていました。先ず、植物の豊富さに驚いています。

南北に細長く、周りを海に囲まれた日本の国土は、雨が豊富で気象・気温も豊富（高温から低温まで）で温帯地区で日本のように、年間、一〇〇〇ミリ〜三〇〇〇ミリの雨が降る、こんな地域は地球上にないそうです。

植物が育つ環境は整って置いて放っておいても自然に生きてきます。まさに植物の天国で、畑や庭は雑草との戦いです。

ですから日本では、少し人手を加えれば、勞せずして好きな植物を育てることができるのです。

そんな中で、幕末の日本を見た外国人が感心したのは、花の種類の多さでした。そしてその中でも「ゆりの種類の多さと育て方の素晴らしい」に感嘆したと報じられていました。

そしてもうひとつ彼らを驚愕させたのは「盆栽」です。姿形を整えられ百年も生きながら鉢の中にある。

こんな素晴らしい「盆栽」が日本で盛んになったのは、徳川家康のお陰だそうす。

徳川家康はこのほか「盆栽」を愛したそうです。それに感化され、各大名の間で盛んになり、それが次第に一般武士へと普及して行き、さらに町人の間に伝わり、日本各地で盆栽作りが盛んに行われるようになったのだそうす。

この中で特に、徳川三百年の永い平和が、盆栽作りに大いに貢献しました。即ち、暇を持て余した武士の間で大いに広がり発展したのです（そこで「役に立たないことに役人は熱中する」と言う言葉も紹介され、それは現代にも当てはまると私は思いました。加えて、日本人独特の繊細な感覚と器用な手先が、盆栽作りの興隆に欠かせなかったことは間違いありません。

というわけで、「盆栽」は「徳川家康」と密接な関係があるのですと報じられていました。

次に紹介されていたことは、当時の子育てに父親が大活躍していたということす。

その例として、『おもちゃ』が取り上げられています。「子供のためにどうしてここまで頭を使うのか」と思うほど、子供のおもちゃの出来が良く面白かったというのです。そして、数あるおもちゃの中でも、その代表的なものは、『お茶運び人形』（からくり人形）だったそうです。また、当時の父親の子育ての様子として、裸で抱いて子供を寝かしたという（まさに、肌と肌のふれあい、父親の温もり）、そしてそれが、極当り前に行われていて、そんな絵も残されていると報道されていました（今日、そんな父親はめずらしいでしょう）。

次に、日本人が平気でしていることで驚いた事。「熱い風呂に平気で入っていること、そして平気で混浴すること」。

「仕事をするとよく歌を唄うこと」。

「大人と子供の服のデザインが同じなこと」。

「子供のおんぶ」（おんぶは外国（欧米）には無い習慣だそうす）。

続いて、非常に感心した物。「和紙」と和紙の素晴らしいには、今日でも取り沙汰され、いろんな所で利用されていて、特に、意外な所で活躍している様子が時々報道されていますが、素材、使い方、加工法のいづれも、当時の外国人は大変驚かせたようす。

特に、雨具としての蛇の目傘、合羽。

紙が加工の仕方一つで水を避ける道具になるとは当時の外国人の常識では考えられなかったのでしょう。ちなみに、和紙を強くするものは「柿渋」だと紹介されていました。「柿渋」は防水作用とともに防腐作用があり、水を撥き、長持ちさせ、身体の健康に対しても害が無く、こんな素晴らしいものを発見し駆使している日本人の文化の高さを、大いに評価していたようす。

但、日本人には二つだけ悪い癖がある、と当時の外国人が思ったこと。

その一は、酒に直ぐ手をだすこと。

その二は、女に関してだらしないこと。

でも、これは人間性豊かな一面であり、前記の優れた文明を持つている割には、と言うことでしょう。そして最後に、ハリス長官の部下・ヒューストンの言ったとされる言葉「今や、我々が日本に良くないことを持込んでいるような気がしてならない」

このように、外国人が見た幕末日本は、知識・文化に優れ、情操豊かで温厚な性格、まさに、この世の楽園、東方の宝の島、と思つたに違いありません。（現在の私達から見ても、学ぶべき点が多々あると思ひます）

二 イチローと松井秀喜

私が読んでいる地方新聞「北日本新聞」から。『米大リーグでシーズン最多安打の新記録を樹立したシアトル・マリナーズのイチロー選手（三〇）が、首相官邸から国民栄誉賞授与の打診を受け「途中で国家から表彰を受けると、モチベーション（動機付け）が下がり、ピークが終わったのではないかと受け取られると、ファンにも申し訳ない」と辞退していたことが分かった。細田博之官房長官が8日の記者会見で明らかにした。

イチロー選手は代理人を通じ、「国民栄誉賞は日本国民として最高の賞で（授与の打診は）大変光栄だと謝意を表明した上で「まだまだ、やらなければならぬことがある、プレーを続けている間は貰う立場にはない」と現役中の受賞を辞退。「野球生活を終え、本当にやりきった時に、もしいただけるならば大変ありがたい」と伝えた。

イチロー選手は2001年秋にも、国民栄誉賞授与の打診に「まだ若いので、できれば辞退したい」と固辞した経緯がある。

まったくその通りだと思います。それにつけても、イチロー選手は野球だけでなく

人格的にも素晴らしい人だと思ひます。威張ることもなく卑下することもなく、極、自然体な振る舞いが、何ともすがすがしく感じられ、こちらの心まで洗われる気がします。

もう一人、米大リーグ、ニューヨーク・ヤンキースの松井秀喜選手も素晴らしい活躍をしながら、自慢することなく、でも良いプレーができたことを素直に喜び、見ている気持ちのいい人です。

素晴らしいプレーで多くの人を喜ませ、その振る舞いで人を喜ばせる二人はまさに菩薩様です。

三 あまの国・日本

咲き誇った大輪の菊の花が、醜く崩れ散ってゆくように、素晴らしい国民性を毒されて腐り行く日本。一度腐り始めた腐りきるまで直らないのでしようか。

橋本元総理の一億円使途不明問題。橋本元総理が歯科医師連盟から一億円の献金を受け、その使途不明を追及している問題で、橋本元総理は「覚えがない」と言っているそうすが、「ぶざけるな」と言いたいです。一億円も貰って覚えがないくらいばけているのなら議員を辞めなさい。まさに税金の無駄使いです。

ダイエーの産業再生機構の利用について。ダイエーが民間資金での再建をあきらめ、ようやく産業再生機構からの資金の導入を決めたと報道されていますが、自分が借金して自分の経営の仕方で資金不足を生じ、他人に後始末をして貰うなら、その責任は当然負うべきです。お隣、韓国では倒産は、社会に迷惑をかけたという点で立派な罪であり、罪人として取り扱われます（ですから韓国では破産者は全部夜逃げするのだそうす）。

この他にも、役人と政治家の不正汚職問題は後を絶ちません。吾が子を虐待したり殺したり。他人に頼まれて関係のないものを殺めたり。

これらは、日本の罪に対する罰の軽さが原因だと私は思ひます。「罪を憎んで人を憎まず」なんて甘っちょろいことを言っているから犯罪が減らないのです。道路交通法の飲酒運転の罰金を十倍にしたら、飲酒運転が激減したではありませんか。他人を殺したら理由の如何を問わず死刑ということにすれば殺人は激減するでしょう。

有限会社 沖商店 代表取締役 沖昌弘

個人メール E-mail 032525@poem.ocn.ne.jp (にこにこ通信への意見をはじめ個人的な連絡は、このメールアドレスへ)